



# 南魚沼市

12月定例会 / 第2回臨時会号

12月5日～12月16日 / 11月18日

# 議会だより

No. 73

2023年2月1日発行

●発行責任者：南魚沼市議会議長 塩谷 寿雄  
●編集：議会広報編集特別委員会

一歩一歩が未来への道しるべ



飯士山にて

© Hayato Hoshino (Hype)

目次

令和4年 第2回臨時会 ..... 2ページ  
令和4年 12月定例会 ..... 3ページ

議決結果 ..... 4～5ページ  
一般質問 **17名が市政を質す** ..... 7～15ページ

令和4年  
第2回  
臨時会

物価高騰から市民の生活を守る！  
市の緊急独自対策 全会一致で可決!!

11月18日に臨時会が開かれました。エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者に対して、市独自の緊急支援事業費等が可決されました。

臨時会の様子は、録画映像配信でご覧いただけます。



令和4年度南魚沼市一般会計補正予算(第7号) 1億8,487万5,000円

主な負担軽減支援事業

生活者		事業者	
上水道事業対策費(事業会計繰出金) 1億872万円	冬期間のエネルギー費用の負担を軽減するため、水道料金の1月、2月分の基本料金の全額免除に要する費用の水道事業会計への繰出し	高齢者施設緊急支援事業費 2,254万円	高齢者施設及び障がい者施設に対して、エネルギー・食料品価格高騰等の支援の第2弾(第1弾は第1回臨時会で可決)
福祉灯油購入費助成事業 2,380万円	生活困窮者に対して、冬期間の灯油購入費等の一部を助成	障がい者施設緊急支援事業費 600万円	
保育園等給食費負担軽減支援事業費 800万円	子育て世帯に対して、保育園・こども園に通う児童の副食費や保育料を12月～3月分免除	農業団体等緊急支援事業費 400万円	農業水利施設の維持管理費を負担する土地改良区等に対して、電気料金高騰分の支援
保育園等保育料負担軽減支援事業費 1,243万円			

令和4年第2回臨時会の全議決結果

(傍聴者 4人)

議決結果の詳細はウェブサイトでご覧いただけます➡



議案番号	発議	議決結果
第22号報告	専決処分した事件の承認について(令和4年度南魚沼市一般会計補正予算(第6号))	承認(賛成多数)
第74号議案	令和4年度南魚沼市一般会計補正予算(第7号)	可決(全会一致)
第75号議案	令和4年度南魚沼市水道事業会計補正予算(第1号)	可決(全会一致)

賛否  
一覧表

起立採決によりそれぞれの賛否が明らかにされ、かつ、賛否が分かれた議案について詳細を表示しています。○=賛成 ×=反対 退=退席 欠=欠席 除=除斥

※議長は採決には加わりませんが、賛否が同数の場合は議長裁決となります。

※除斥(じよせき)とは、議案と一定の利害を有する議員は、議案審議に参加できない制度です。

会派	南魚みらいクラブ							歩む会			市民クラブ				未来創政会			日本共産党議員団	無所属			
	目黒哲也	吉田光利	塩川裕紀	清塚武敏	桑原圭美	小澤実	黒滝松男	関常幸	勝又貞夫	鈴木一	塩谷寿雄	牧野晶	梅沢道男	田中せつ子	佐藤剛	寺口友彦	大平剛	永井拓三	中沢一博	川辺きのい	中沢道夫	黒岩揺光
第22号報告	○	○	○	○	欠	欠	○	○	○	○	※	○	欠	○	○	欠	○	○	○	欠	○	×

※新型コロナウイルス感染拡大で、議員本人が陽性または濃厚接触者になるなど、欠席せざるを得ない状況が多数ありました。



令和4年  
12月  
定例会

12月定例会は12月5日(月)から16日(金)に開かれました。エネルギー価格の高騰による燃料費の上昇への対策や、健診施設建設のための委託料の補正予算審議を行いました。そのほか、城内診療所の市民病院附属化に伴う関係条例の改正や教育長の任命についてなど、様々な議案が審議されました。

定例会の様子は、録画映像配信でご覧いただけます。



令和4年度南魚沼市一般会計補正予算(第8号) 5億3,482万5,000円

エネルギー価格高騰により増額補正した主な事業 ※一部のみ掲載しています

<ul style="list-style-type: none"> <li>● 車両運行費                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・燃料費 200万円</li> </ul> </li> <li>● 庁舎管理費                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・燃料費 150万円</li> <li>・光熱水費(電気) 580万円</li> </ul> </li> <li>● 不燃ごみ処理施設運営費                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・光熱水費(電気) 440万円</li> </ul> </li> <li>● 道路橋りょう維持管理一般経費                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・道路照明等電気料 90万円</li> </ul> </li> <li>● 消融雪事業費                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・消雪電気料(市道分) 9,700万円</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 小学校管理一般経費                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・燃料費 560万円</li> <li>・光熱水費(電気) 550万円</li> </ul> </li> <li>● 中学校管理一般経費                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・燃料費 310万円</li> <li>・光熱水費(電気) 925万円</li> </ul> </li> <li>● 特別支援学校管理一般経費                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・燃料費 75万円</li> <li>・光熱水費(電気) 91万円</li> </ul> </li> <li>● 図書館管理運営費                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・光熱水費負担金 274万円</li> </ul> </li> </ul>
--	---

質疑応答

Q & Aは一部のみ掲載しています。

● 可燃ごみ処理施設運営費

・燃料費 2,868万円  
・光熱水費(電気) 3,700万円

Q 当初予算から40%以上増額となっているが、これは単に物価高騰によるものか、それとも施設の老朽化による不具合が関係しているのか。

A 施設の運転そのものは順調に推移している。燃料費は30%以上の上昇が見られる。施設の運転が順調なので、使用電力量は減っているが、単価が45%ぐらいうがっている。

● 健診施設等建設事業費

・基本設計業務委託料4,000万円

Q 多額な補助金が必要になる事業だが、補助対象にならなかつた場合は、計画自体が白紙になるのか。

A 健友館の移転事業は、国土交通省の補助事業の採択が事業実施の条件にはなる。



移転計画が進む健友館

補正予算案に対して、修正案が提出されました

◎ 提出者：寺口 友彦  
◎ 賛成者：梅沢 道男  
田中せつ子  
佐藤 剛



歳入・繰入金のうち4,000万円減額。歳出・衛生費の健診施設等建設事業費を4,000万円減額。

提案理由

① 健診施設の機能について、議論が不十分だ。健診サービスの地域格差をなくし、医療従事者の負担軽減を中心に議論されるべき。  
② 統合給食センターや新ごみ処理施設等の巨額の予算を必要とする事業が控えている。まず、建設費や維持管理費等の財政計画を示すべき。

討論

要点のみ掲載しています。

原案に賛成

・健診施設の移転は、医療のまちづくりの3本柱の一つであり、医師確保にもつながる。

・医療資源の集約化で、働きやすい環境を整え、医療の質を変えていく意思を感じる。

原案・修正案両方に反対

・住民が望む健診施設の在りようとする方針が、どう折り合いがつかないか見えない。

・城内診療所の市民病院の附属診療所化は、地域医療体制を後退させるもので、住民への説明もない。

修正案に賛成

・補助金計画に将来負担の懸念がある。37億円の健診施設の必要性と効果については、もっと議論が必要である。

採決

修正案 ◆賛成少数で否決

原案 ◆賛成多数で可決

議案番号	市長提出議案	議決結果
第106号議案	南魚沼市固定資産評価審査委員会委員の選任について (大竹一夫氏)	同意 (全会一致)
第107号議案	魚沼地域特別養護老人ホーム組合を組織する地方公共団体の数の減少及び魚沼地域特別養護老人ホーム組合規約の変更について	可決 (全会一致)
第108号議案	魚沼地域特別養護老人ホーム組合を組織する地方公共団体の数の減少及び魚沼地域特別養護老人ホーム組合規約の変更に伴う財産処分について	可決 (全会一致)
第109号議案	令和4年度南魚沼市一般会計補正予算 (第9号)	可決 (全会一致)
第110号議案	人権擁護委員の候補者の推薦について (館野明子氏)	同意 (全会一致)
議案番号	動議	議決結果
第76号修正案	令和4年度南魚沼市一般会計補正予算 (第8号) に対する修正動議	否決 (賛成少数)
議案番号	請願	議決結果
請願第3号	介護保険制度の改善を求める請願書	不採択 (賛成少数)
請願第4号	物価上昇に見合う老齢基礎年金等の改善を求める請願	不採択 (賛成少数)
議案番号	議員発議	議決結果
発議第8号	物価上昇に見合う老齢基礎年金等の改善を求める意見書の提出について	否決 (賛成少数)

## 賛否 一覧表

起立採決等によりそれぞれの賛否が明らかにされ、かつ、賛否が分かれた議案について詳細を表示しています。

○=賛成 ×=反対 退=退席 欠=欠席 除=除斥

※議長は採決に加わりませんが、賛否が同数の場合は議長裁決となります。

※除斥 (じよせき) とは、議案と一定の利害を有する議員は、議案審議に参加できない制度です。

会派	南魚みらいクラブ							歩む会			市民クラブ				未来創政会		日本共産党議員団		無所属			
	目黒哲也	吉田光利	塩川裕紀	清塚武敏	桑原圭美	小澤実	黒滝松男	関常幸	勝又貞夫	鈴木一	塩谷寿雄	牧野晶	梅沢道男	田中せつ子	佐藤剛	寺口友彦	大平剛	永井拓三		中沢一博	川辺きのい	中沢道夫
議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	×	×	×	×	○	○	○	×	×	欠	
第76号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	欠	
第76号修正案	×	×	×	×	×	×	×	×	×	※	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	欠	
第79号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	欠	
第85号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	欠	
第88号議案	○	○	○	○	○	○	○	×	○	※	○	○	○	○	×	○	○	○	×	×	欠	
第89号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
第90号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠
第95号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×
第99号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
第100号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
第102号議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
請願第3号	×	×	×	×	×	×	×	×	×	※	欠	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	
請願第4号	×	×	×	×	×	×	×	○	○	※	欠	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	
発議第8号	×	×	×	×	×	×	×	○	○	※	欠	○	○	○	○	×	×	×	○	○	×	

※新型コロナウイルス感染拡大で、議員本人が陽性または濃厚接触者になるなど、欠席せざるを得ない状況が多数ありました。

# 令和4年12月定例会の全議決結果

(傍聴者 延べ68人)

議決結果の詳細は  
ウェブサイトでご覧いただけます→



議案番号	市長提出議案	議決結果
第76号議案	令和4年度南魚沼市一般会計補正予算（第8号）	可決（賛成多数）
第77号議案	令和4年度南魚沼市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決（全会一致）
第78号議案	令和4年度南魚沼市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決（全会一致）
第79号議案	令和4年度南魚沼市城内診療所特別会計補正予算（第2号）	可決（賛成多数）
第80号議案	令和4年度南魚沼市水道事業会計補正予算（第2号）	可決（全会一致）
第81号議案	令和4年度南魚沼市病院事業会計補正予算（第2号）	可決（全会一致）
第82号議案	令和4年度南魚沼市下水道事業会計補正予算（第1号）	可決（全会一致）
第83号議案	南魚沼市ふるさと応援活用基金条例の制定について	可決（全会一致）
第84号議案	南魚沼市空家等の適切な管理に関する条例の制定について	可決（全会一致）
第85号議案	南魚沼市個人情報保護法施行条例の制定について	可決（賛成多数）
第86号議案	南魚沼市職員の定年等に関する条例の一部改正について	可決（全会一致）
第87号議案	地方公務員法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理について	可決（全会一致）
第88号議案	南魚沼市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	可決（賛成多数）
第89号議案	南魚沼市特別職の職員の給与等に関する条例の一部改正について	可決（賛成多数）
第90号議案	南魚沼市職員の給与に関する条例及び南魚沼市一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正について	可決（賛成多数）
第91号議案	南魚沼市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について	可決（全会一致）
第92号議案	南魚沼市病院事業職員の給与の種類及び基準を定める条例の一部改正について	可決（全会一致）
第93号議案	南魚沼市税条例の一部改正について	可決（全会一致）
第94号議案	南魚沼市入湯税条例の一部改正について	可決（全会一致）
第95号議案	南魚沼市立城内診療所の廃止に伴う関係条例の整理について	可決（賛成多数）
第96号議案	南魚沼市農林業集落多目的集会施設等条例の廃止について	可決（全会一致）
第97号議案	南魚沼市浦佐福祉の家条例の廃止について	可決（全会一致）
第98号議案	財産の無償譲渡について	可決（全会一致）
第99号議案	南魚沼市トレーニングセンターの指定管理者の指定について (株式会社ベースボール・マガジン社)	可決（賛成多数）
第100号議案	南魚沼市斎場の指定管理者の指定について (株式会社 飛鳥)	可決（賛成多数）
第101号議案	字の変更について	可決（全会一致）
第102号議案	南魚沼市教育委員会教育長の任命について (岡村秀康氏)	同意（賛成多数）
第103号議案	南魚沼市教育委員会委員の任命について (須藤文子氏)	同意（全会一致）
第104号議案	南魚沼市固定資産評価審査委員会委員の選任について (遠藤喜代志氏)	同意（全会一致）
第105号議案	南魚沼市固定資産評価審査委員会委員の選任について (勝又義一氏)	同意（全会一致）



# 一般質問

Q & Aは一部のみを掲載しています。

## 質問順位

1. 吉田 光利
2. 清塚 武敏
3. 牧野 晶
4. 中沢 道夫
5. 川辺きのい
6. 梅沢 道男
7. 永井 拓三
8. 佐藤 剛
9. 黒岩 揺光
10. 勝又 貞夫
11. 田中せつ子
12. 桑原 圭美
13. 大平 剛
14. 寺口 友彦
15. 塩川 裕紀
16. 目黒 哲也
17. 中沢 一博



## 一般質問とは・・・

**議員が市の行政全般について、執行機関に対して所見を求め、疑義を問いただすもの。**

各議員の氏名の下QRコードをスマートフォンなどで読み取ると、一般質問の録画映像がご覧になれます。



通告書はこちら



南魚みらいクラブ

よしだみつとし  
**吉田 光利**



### 他の自治体と比べ市の子育て支援の優位性は

**答** 公立16園をはじめ多くの保育園を運営している

他の自治体と比べ優位性、あるいは特徴のある子育て支援策は。

**Q** 質問

他の自治体と比べ優位性、あるいは特徴のある子育て支援策は。

**A** 市長

当市は公設民営を加えると7割以上が公立であり、他市町村は約4割である。いかに特徴的か物語っている。また、大型の商業施設内に子育て支援センターを設置しているが、当初から保育士2人体制の施設は少ないと思う。昨年度から開始したためごちゃん祝い金は、当市独自事業である。

**Q** 質問

宮保育園では、雨や雪の日に職員が率先して交通整理をし、ドライブスルー方式で玄関先での子供の送迎ができ、保護者から感謝の声を聞いた。よい事例として水平展開してはどうか。

**A** 市長

なるほどと思った。よいことは真似をする姿勢にならなければならない。

**Q** 質問

移住定住世帯・希望世帯に対する保育園の入園等の対応には、庁舎挙げての配慮が必要と思うが。

**A** 市長

全庁的に所管課と連携しながら、対応を進めている。

**答**

**雪恋事業における市観光協会との業務委託契約は委託契約ではなく、補助金交付団体となっている**

**Q** 質問

宿泊業者支援のために市で立ち上げた雪恋事業で、宿泊業者に支払われるべき公金の私的流用があった。今までに、何らかの問合せや苦情が市にはなかったのか。

**A** 産業振興部長

報道機関数社からの問合せはあったが、市民からは来ていない。



南魚みらいクラブ

清塚 武敏



空き家を増やさない施策を

危険な状況の空き家を増やさないよう努める

Q 質問  
空き家防止啓発チラシや空き家ハンドブック、空き家相談窓口の充実等が重要と考えるが。

A 市長  
空き家ハンドブックの在り方や相談窓口など、十分検討を加えていきたいと思う。

Q 質問  
空き家の有効活用で、移住・定住や地域活性化につなげる考えは。

A 市長  
例えば、空き家をゲストハウスや交流の拠点として活用する支援についても検討したいと考える。

Q 質問  
解体費助成の考えは。

A 市長  
国の事業で、空き家再生等推進事業があるが、解体

後の跡地利用などの条件があり、ハードルが設けられている。制度の周知、活用を行政が進んでやっていかないと前に進まない。税制上の優遇措置も併せて危険な状況の空き家を増やさないように努めていきたい。

学力向上のための地域や家庭と学校の連携は

学校と地域が連携して教育活動を進めていく

Q 質問  
全国学力・学習状況調査の結果では、当市は県の平均を下回っている。学力向上のため、地域や家庭と連携して、どう進めていくのか。

A 教育長  
全ての学校に、コミュニティスクールを導入する。学校と地域が連携して、様々な学習活動に地域の方から講師になってもらう。気づきを促し、意欲的に学ぼうとする姿勢を育んでいく。



歩む会

牧野の



ふるさと納税返礼品である米の品質チェックは

品質の維持と信頼を大切にブランドを守る

Q 質問  
ふるさと納税で、市の財政や市内事業者が潤っていることは喜ばしいことだ。返礼品の米の品質チェックはどのようにしているのか。

A 市長  
米の部門では全国1位だと思っている。米の産地が南魚沼であることが重要な要素だと考えており、寄附者の皆さんもそう思っていると思う。

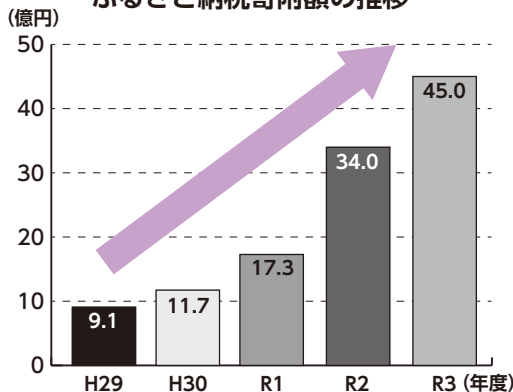
総務省の基準では、複数原料米というような表記であればブレンド米の返礼品登録も可能だが、現在、複数原料米の登録・表記をしている返礼品はない。

市では、返礼品を提供する事業者を対象に、毎年研修会等を開催し、食品表示法などの法律の遵守また徹底した品質の管理向上を指導している。

こういった取組を続けることで、この地域が一丸となって、このブランドを守っていくという体制をつくっていく。

事業者にとさらなる品質管理の徹底について、意識を高めてもらうため、返礼品を登録する際にDNA検査を行う場合がある。今後も高評価をいただけるように、事業者と連携しながら、品質の維持と信頼を確保し、ブランドを守り切っていきたいと考えている。

ふるさと納税寄附額の推移





日本共産党議員団

なかざわ みちお  
中沢道夫



原発依存から脱却し、原発ゼロに進むべきでは

**答** 国として総合的に議論して判断すべき問題だ

**Q 質問** 政府は、東日本大震災以降の原発政策を改め、次世代革新炉の開発・建設、運転期間の延長に加え、再稼働も加速するよう原発政策の大転換を打ち出したが、どう捉えているか伺う。

**A 市長** 国民生活への影響を最小限にするべく努めることは、当たり前のこと。革新炉の可能性の検討については、否定できるものではないと考える。

**Q 質問** 核のゴミの処分方法が決まらないため、原発はトイレなきマンションと批判されてきた。こうした下での新増設や再稼働についての見解を伺う。

**A 市長** 脱炭素化に向けた取組を進めるためにも、原発を活用する国の方針を否定しきれぬも

のではない。

**Q 質問** ウクライナ危機において、原発が軍事標的になることが示され、新たな危険性を浮き彫りにした。原発回帰はこの点からも許されないとと思うが、見解を伺う。

**A 市長** 原発が、他国からの軍事的な標的にされる可能性があるということで、原発回帰が許されないという議論には、賛同しかねる。

**答** 加齢性難聴者への補聴器補助制度の創設を

**答** 来年度から実施する予定である

**Q 質問** 加齢性難聴者に対する自治体の補助制度は、新潟県内でも広がっている。市も創設する考えはないか。

**A 市長** 令和5年度から、補聴器購入助成を実施するよう、現在準備を進めている。



日本共産党議員団

かわさき 清明  
川辺きのい



物価高騰から暮らしと地域経済を立て直す施策は

**答** 国の動向を見ながら現在行っている施策を着実に進める

**Q 質問** 物価高騰対策として、一時的にでも、消費税減税に踏み切るよう、国に提案すべきではないか。

**A 市長** 消費税は国の非常に大きなテーマだ。枠が決められ、使用されている部分がある。ここに手を入れることが今大丈夫なのか、提案できる自信はない。

**Q 質問** 中小企業・小規模業者や農林水産業者は、長引くコロナ禍や物価高騰、過剰債務によって苦しめられている。どのような対策を講ずるのか。

**A 市長** 現在行っている支援策を着実に進め、国の動向を注視し、必要な施策を迅速に進められるよう、準備を進めていきたい。

市民の移動手段を守ることに伺う

**答** 市民の足をどう確保するかが大きな課題だ

**Q 質問** 市民バスの利便性を高めるべきではないか。

**A 市長** そのとおりだと思っっている。

**Q 質問** 降車フリー制度を改善し、危険がないことを条件に、乗る場所にも適用できないか。

**A 市長** これは危険を伴い難しい。現実にはできない。

**Q 質問** デマンドタクシーを導入し、市民バスと組み合わせた交通システムを構築する考えは。

**A 市長** 現在の市民バスを活用して、デマンド型の市民バスを導入するよう、令和5年度中を目標に準備を進めている。まずは実証実験としての導入を予定している。





市民クラブ

梅沢 道男



コロナ感染者の葬儀への対応について改善を急げ

答 指定管理者と協議を進めている

Q 質問 コロナ感染症で亡くなられた方の葬儀等について、市の斎場や葬祭業者は、令和2年7月に定められた国のガイドラインを超えた過剰な対応によって、ご遺族に過大な負担を強いられると、ご遺族の意志や気持ちを反映したものとなっていないと聞くが、その現状について伺う。

A 市長 市内の葬祭業者から委託された搬送業者が、ご遺体を引き取り搬送業務を行っているが、斎場の中での参列者への対応に問題があったと認識をしている。

具体的には、この搬送業者の指示、誘導により、最後の別れの場に一部のご遺族しか入れなかったり、参列者への防護服の着用強制等を指定管理者が黙認し、斎場の方針との誤解を招く結果となって

しまった。

また、それらの必要性等の説明もなかったため、結果としてご遺族の心情に寄り添った葬儀とならず、過大な負担等もかかり、大切な最期の別れの場に疑問を呈する運営方法となった。率直におわびを申し上げ、改善に努めたい。

Q 質問 ご遺体は、病院で非透過性の納体袋に収めて消毒をし、ほとんど感染リスクはない状態で棺に収め、密閉する。それを長岡に運んで保管し、翌日、斎場まで運ぶ費用が50万円以上かかっている。

A 市長 国のガイドラインの周知徹底を図り、過剰な負担の軽減とともに、葬儀も尊厳ある、ご遺族に寄り添ったものとなるよう、担当課を含め、進めるべきではないか。

今、指定管理者と協議を重ねており、国のガイドラインに沿った形に近づけるよう、進めている。

Q 質問 人口動態に合わせた都市計画道路の除雪体制はどのように計画をしているか。

A 市長 市道除雪計画に基づいて実施している。除雪オペレーター不足が顕著になってきて

市街地の既存の除雪路線と住民からの要望路線の協議はどのように行っているか。

Q 質問 市街地の既存の除雪路線と住民からの要望路線の協議はどのように行っているか。

市街地の除雪について伺う

答 様々にわたり課題が深刻化している状況である

A 市長 人口減少や高齢化により、降雪パイプの維持管理が困難になってきている。市に除雪対応ができないかという要望が多くなってきているが、非常に厳しい状況で、市がどこまで関与できるのか大変難しい問題とされている。今後は行政区なども加えて、市とできる対応策を検討していく必要があると思っています。

人口動態に合わせた都市計画道路の除雪体制はどのように計画をしているか。

A 市長 市道除雪計画に基づいて実施している。除雪オペレーター不足が顕著になってきて

市街地の既存の除雪路線と住民からの要望路線の協議はどのように行っているか。



未来創政会

永井 拓三



子供の学校でのコミュニケーションについて伺う

答 子供たちの変化に注意しながら学校運営を行う

Q 質問 コロナ禍における学校での子供たちのコミュニケーションは。

A 教育長 コミュニケーション不足の解消と情報リテラシー教育の両面から、充実を図っていきたい。マスクによって、表情が分からないこと、からかいやじめ、中傷などのトラブルに発展しないように、行動や心の変化に注意を払いながら、情報を共有し学校運営を行っている。



おり、除雪体制を維持することが重要課題となっている状況である。



市民クラブ

佐藤 剛



学校に行けない子供たちへの支援をどう進めるか

**答** 包括的な支援体制やタブレット端末活用など検討し進める

**Q** 質問

小・中学校の不登校児童生徒数は、全国的にも、市においても増加傾向だ。教育機会確保法の制定もあり、不登校支援のゴールは学校に戻ることだったが、学校復帰だけではなく不登校時も教育が保障され、多様で適切な支援が求められている。そういう中で市の不登校支援は変わったか。

**A** 教育長

学校への復帰の支援、子供、保護者の課題に寄り添った支援に努め、相談担当主事の配置や登校できるよう別室を確保する等、個々の状況に応じた支援対策を進めている。またスタディルームを子ども・若者相談支援センターに移し、相談支援、学習支援の包括的な支援体制を整えた。

**Q** 質問

不登校児童生徒の教科指導、体験の場等の多様な教育機会の確保と、保護者を含めたサポートを進めるため、教育支援センター設置の考えはないか。また、1人1台配布になったタブレット端末を活用して、不登校児童生徒の家庭とオンラインでつながり授業参加や、学校の様子を伝えて学校とのつながりを保つような支援は考えられないか。

**A** 教育長

子ども・若者相談支援センターは、教育支援センター設置目的の不登校児童生徒の集団生活への適応、基礎学力の補充、基本的な生活習慣の改善等の機能を有しているため、この支援をより充実させたい。タブレット端末活用は、不登校児童生徒にどのように進めていくか、前向きに検討したい。

不登校件数 学校教育課調査

	不登校件数		
	小学校	中学校	計
R4.3月末	26件	85件	111件
R3.3月末	19件	66件	85件
R2.3月末	16件	55件	71件
H31.3月末	21件	57件	78件
H30.3月末	17件	71件	88件



無所属

黒岩 揺光



補助金事業での不正事案は市が自ら調査すべきだ

**答** 実施主体の市観光協会の報告を待ってから検討する

**Q** 質問

市のコロナ支援事業「雪恋」で上越国際観光協会（以下、上観）の元協会長が1,900万円を私的流用したと報道された。令和2年にも、市のコロナ支援事業で農協職員による不正購買があった。いずれの事業も、市観光協会（以下、市観）が実施主体だ。今回の事案では、上観から市観へ令和4年4月時点で1,000万円の未納があったということだが、市への報告が10月まで遅れたのはなぜか。

**A** 市長

市観が上観に支払いを催促した結果、部分的に納入があったため、上観に支払う意思があると判断したこと。また、市観の職員が上司からの叱責を恐れたことなどが遅れた一因だった。

**Q** 質問

市がこの事案を把握してからの、どのような調査してきたのか。

**A** 市長

この件は市観と上観との間で結ばれた業務委託契約に基づくもので、市が直接関与できる内容ではない。両者に協議を進めるよう、対応を求めてきた。

**Q** 質問

市観が未納状態を4月に市に報告していれば、私的流用の被害額を最小限に抑えることができたと思う。地方自治法21条には、自治体の補助金事業で適正な運営がされないとときは、自治体が事業者を調査することができる」と明記されているが、市が自ら市観を調査する考えはないか。

**A** 市長

まず、市観に対して調査と報告を求め、今後の対策をするのが市の責務であると考えた。



歩む会

勝又貞夫



学力向上についての自己評価はどうか

答 努力しているが数値には表れていない

Q 学力向上は達成できたか。その自己評価はどうであったか。教育長の任期3年の総括も含めて問う。

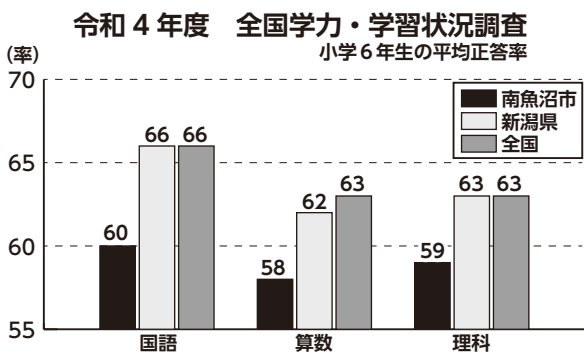
A 教育長 全国学力・学習状況調査の結果が、県・全国の平均値を下回る状況が続き、学力の向上を実現するには至っていない。大変厳しい状況で重く受け止めている。この3年間、新型コロナウイルス感染症の拡大という状況の中、学校現場の教職員は懸命に努力しているが、数値には表れていない。

Q 質問 以前、文部科学省が発表されたグラフでは、テレビ・ゲーム・スマホなどに費やす時間と学力を比較すると、見事に逆比例するとの資料もある。なぜ南魚

沼市の子供たちが、ゲームなどの機器を使う傾向がずば抜けて高いのか。

A 教育長 乳幼児期からのメディア接触が多いということがその原因と考える。メディア接触を制限することがなく、それが日常生活で当たり前になってしまっていると思う。小さい時に、メディアに接触している時間を減らす工夫をするようお願いしたい。

沼市の子供たちが、ゲームなどの機器を使う傾向がずば抜けて高いのか。



中学3年生の平均正答率も新潟県、全国の平均を下回りました。(参考：市報11月1日号)



市民クラブ

田中せつ子



労働力不足に対応した新たな雇用促進対策を

答 条件を整備して検討したい

Q 質問 スマホで検索できる、求職者と事業者をつなぐゆざわマッチボックスを導入しては。

A 市長 双方にメリットがある。様子を見て検討していきたい。

Q 質問 ふるさとワーキングホリデーを通年で取り組み、交流人口の増加と移住・定住につなげよ。

A 市長 Uターン促進の無料バスも含めて、就職活動前からのつながりをつくっていくなど、踏み出していきたい。

「ふるさとワーキングホリデー」都市部に居住している若者が、一定の期間、働きながら地方に滞在し、その地域の生活を体感すると同時に、地域との関わりを深めていく制度。

地域における男女共同参画社会の実現を

答 なかなか難しく思ったように進んでいない

Q 質問 女性消防職員の占める割合5%の目標にどう取り組んでいるか。

A 市長 2名退職し現在2名に。市のウェブサイト等で魅力を発信し、採用につなげたい。

Q 質問 行政区役員への女性登用については、アンケート結果を分析し、有効で着実な取組を。

A 市長 男女共同参画推進委員の提案を参考にして検討する。

Q 質問 市長と市民の車座会議「ざっくばらん」は、参加しやすい場所・曜日・時間で公平な市民参画の機会を。

A 市長 国際大学や中高生なども含め、回数を増やしてまだまだやりたい。





南魚みらいクラブ

桑原 圭美



市の人口減少問題を政策にどう反映させるのか

答 バランスよく施策展開を推進しよう

Q 質問 人口減少が予想以上に進んでいる。それによって労働生産人口が減少し、経済活動を縮小させ、それに起因する税収減によって、社会保障の維持が困難になることが懸念される。市内経済の縮小に対する政策は。

A 市長 企業誘致、起業を含めた創業やイノベーション人材推進事業に取り組みながら、もとも持っているものを磨き上げる視点で取り組む。

A 市長 城内診療所、健診施設、医療機器・機能の集約化を図る。また、市民病院のケアミックス化を進め、病棟連携、病診連

Q 質問 高齢者人口の増加に伴う福祉の充実と医療ニーズの縮小への取組は。

A 市長 城内診療所、健診施設、医療機器・機能の集約化を図る。また、市民病院のケアミックス化を進め、病棟連携、病診連

携を深める。

Q 質問 少子化対策と出生率の向上のための効果的な支援策は。

A 市長 妊娠期から丁寧な支援をしていく。不妊治療費、不育症医療費の助成、めぐちゃん祝い金の支給、妊産婦の医療費自己負担分の全額助成を行っている。また、広域交流ミーティングパーティーでの婚活支援、ハッピーパートナー企業支援による職場の環境整備をしている。

「めぐちゃん祝い金」※市独自事業 出産のお祝いと子供の明るい未来を願い、第1子に12万円、第2子に15万円、第3子以降に20万円の祝い金を支給し、子育て世代を応援している。



未来創政会

大平 剛



市の空き家対策は

答 総合的な空き家対策を進めていきたい

Q 質問 固定資産税の納税通知書を送付する時、空き家に関する様々な情報を一緒に送ったかどうか。

A 市長 令和3年に、県外宛てのマンションを除く納税通知書に、空き家バンクのチラシを同封したことがある。この納税通知書を送付する際に、啓発チラシを同封する提案については、所有者に直接啓発できる有効な機会と考えられるので、今後検討していきたい。

Q 質問 国・県の支援策や補助金があれば情報提供するの

A 市長 空き家ガイドのようなものをつくり、一目で情報が分かるようにして発信していくことが大事ではないかと思う。その

中に市以外の情報も入れていく。

Q 質問 空き家を管理するということが大事になってくると思う。民間業者と協力して空き家の管理をする、そしてその情報を提供するという取組や検討はしているか。

A 市長 空き家の管理における様々な情報提供を、先ほど述べた空き家ガイドやウェブサイトに載せるなどすれば、はるかに分かりやすくなるだろう。検討したい。

Q 質問 建物解体撤去後の土地の固定資産税を減免してはどうか。

A 市長 租税の法律主義、また、租税の公平主義の点から慎重に判断しなければならぬ。違うやり方がないか、いろいろ考えていきたい。



市民クラブ

寺口友彦



民間診療所の新規開設、事業継承に助成金を

新たな助成金を検討していく

Q 質問

人口が減り、患者が減る中でも民間の力は借りなければならぬ。開業医の新規開院や事業継承に市が助成金を出し、民間の力をさらに活用すべきだ。

A 市長

開業医の確保は重要課題だ。3院が開院したが、全体的には開業医は減っているため、病院へ患者が集中している。医師の働き方改革のためにも、官民の連携は将来にわたってやっていく必要がある。新たな助成金は出す方向で検討していく。少し遅れた感があるが、郡市医師会と連携し進める。開業医のいない空白地域の解消が大事である。居抜きも含めて検討する。志のある医師が求められている。助成金創設の時期は明言できない。

水道施設を利用した小水力発電で新たな水道事業を

関心を持って進める

Q 質問

畔地浄水場を中心とした地域別配水方式での送配水管工事が本格化する中で、水道施設の新たな利用方法として小水力発電を始めよ。

A 市長

以前から関心を持ち、魅力を感じている。平成24年に調査をしたときは、収益が出ないので断念した。今は、高効率、低コスト、省スペースの施設が開発されている。100キロワット以下の小水力発電を水道施設に設置することがはやっており、上越市でも導入された。消費電力削減のため畔地浄水場を1系列にしたが、電気単価が上がり、電気料は増えている。導入は明言できないが、関心を持って進めていきたい。

南魚沼市森林公園の今後の方向づけは

慎重な検討が必要だ

Q 質問

市の指定管理となつている南魚沼市森林公園は、五日町スキー場に隣接しており、駐車場や施設、遊歩道等、スキー場の中を通って利用されている。森林公園とスキー場は共に連携し、共存共栄の歴史があるため、2期連続のスキー場の営業休止は厳しい現実と考える。スキー場との共存共栄のバランスをどのように考えているか。

A 市長

冬のスキー場と共に歩んできた歴史、地元の皆さんの継続したいという熱意を感じる。しかし施設も老朽化しており、そういうところを十分勘案して、検討を加えていく。

Q 質問

隣接のジュニア用スキージャンプ台の管理は、今後どのように考えているのか。



南魚みらいクラブ

塩川裕紀



残していくということが大きな課題となっている。県とも折衝を重ねているが、まだ結論が出ていない。

Q 質問

スキー場を森林公園の一部として一体的に管理し、ステッピングアップを検討してはどうか。

A 市長

スキー場の再開の動向などを見極めた上で、やっていくことだ。

带状疱疹ワクチン接種の費用助成はできないか

検討に値すると思っている

Q 質問

予防ワクチンは高価で、健康保険適用外である。費用助成が必要では。

A 市長

福祉保健部等と検討し、少しでもという思いはしている。





# 常任委員会報告

## 管内調査

### 社会厚生委員会

期日 令和4年10月26日

#### 調査内容

①病院事業の医療資源の再編について（現地調査含む）

## 管外調査

これまで、コロナ禍で中止となっていた各常任委員会による管外調査がようやく再開されました。様々な課題を先進地に学ぶことで、市政の改善に向けた動きが期待されます。

### 総務文教委員会

期日 令和4年10月5日～6日

#### 視察先および調査内容

①千葉県匝瑳市

・移住・定住促進と生涯活躍のまちづくりについて

②埼玉県戸田市

・ICT教育の取組について



匝瑳市



戸田市

## 産業建設委員会

期日 令和4年10月14日

#### 視察先および調査内容

①長野県小諸市

・企業誘致について



## 社会厚生委員会

期日 令和4年10月18日～19日

#### 視察先および調査内容

①神奈川県三浦市

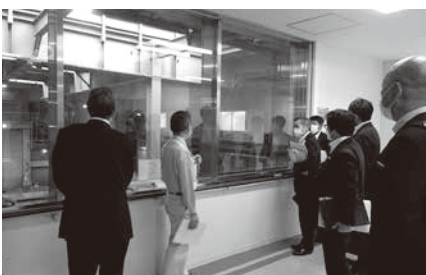
・三浦市立病院について

②埼玉県ふじみ野市

・ふじみ野市・三芳町環境センターについて



三浦市



ふじみ野市



小諸市

# 議会研修会報告

## ●新潟県市議会議長会議員研修会

期日 令和4年11月4日

会場 長岡市立劇場

#### 所感

県議長会主催で開催されました。長野県立大学の田村秀教授による「新潟の課題と展望―新潟の逆襲は可能か―」と題した講演を受け、他市の議員との情報交換も行われ、非常に勉強になりました。

## ●中越地区市議会合同議員研修会

期日 令和4年11月15日

会場 N A S P A ニューオータニ

#### 所感

中越地区の8市議会から約150人の議員が参加し、ウクライナで紛争が開始された直後に現地入りした「国境なき医師団」の門馬秀介医師から講演いただきました。質疑では、「戦争下で国の支援が行き届かない人を助ける人道支援者と、行政の支援が市民にしっかり行き届いているかチェックする議員の仕事に共通点がある」等の意見も出しました。



合同議員研修会の様子

# 3月定例会 予告

次の定例会は2月27日～3月17日の予定です。

## 3月議会 カレンダー (予定)

2月27日	月	本会議	9日	木	休会
28日	火	本会議	10日	金	本会議（予算審議）
3月 1日	水	社会厚生委員会	11日	土	休会
2日	木	産業建設委員会	12日	日	休会
3日	金	総務文教委員会	13日	月	本会議（予算審議）
4日	土	休会	14日	火	本会議（予算審議）
5日	日	休会	15日	水	本会議（予算審議）
6日	月	本会議（一般質問）	16日	木	予備日
7日	火	本会議（一般質問）	17日	金	本会議
8日	水	本会議（一般質問）			

### 傍聴のご案内

本会議は、9時30分から市役所本庁舎3階の議場で行います。どなたでも傍聴できます（ただし、児童の傍聴には議長の許可が必要となります）。詳しくは、議会事務局（☎773-6650）までお問い合わせください。  
※現在、新型コロナウイルス感染症対策のため、傍聴の際はマスクの着用をお願いしています。

## 江戸川区議会 × 南魚沼市議会



令和4年11月9日、江戸川区議会の有志が当市に来訪し、交流を深めました。



<江戸川区>東京23区の一つで、人口は約68万人。令和2年8月に友好都市盟約を締結しました。

議会だよりに対する  
ご意見ご感想を  
お待ちしております。

宛先

議会事務局 ☎773-6650

または

QRコードをご利用ください。



お待ちしております  
おります♪



編集後記

お健やかに新春をお迎えのことと存じます。今年の干支「癸卯」は、物事の終わりと始まりを、またうさが跳ねる様子から飛躍を意味するようです。コロナ禍が収束に向かい、経済が大きく「飛躍」し、私たちの生活が大きく「向上」する年になるよう心から願っております。

目黒哲也

### 議会広報編集特別委員

委員長 勝又貞夫

副委員長 黒岩揺光

委員 塩川裕紀

委員 梅沢道男

委員 目黒哲也

委員 大平剛

委員 川辺きのい